

# 【光市】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

周防地域において、「学校運営協議会」等が主体となり、学校・保護者・地域・関係機関が連携し土砂災害について学ぶとともに、防災訓練や避難所生活を想定した宿泊体験、炊き出し訓練、救急救命訓練等を含む総合的な体験学習を実施し、児童生徒が災害発生時において正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。



## 実施内容

- 1 実施日時：平成27年9月12日（土）・13日（日）
- 2 実施場所：周防小学校体育館
- 3 参加者：周防小学校児童43人、島田中学校生徒2人、保護者14人、周防小学校教職員12人、島田中学校教職員3人、周防地区住民132人、周防地区消防団17人、市防災担当部局3人、光消防本部6人、光市教育委員会3人、山口県教育委員会2人

### 4 プログラム

【1日目】9月12日（土）

12:30	14:00	15:00	17:00	19:00	19:20	20:30	21:00
避難訓練	【研修Ⅰ】 [講話] ・市防災担当課 ・市消防署	【研修Ⅱ】 寝床づくり 防災グッズ製作	夕食	【研修Ⅲ】 [講話] 市消防署	【研修Ⅳ】 子ども 熟議 (振り返り)	就寝準備	就寝

【2日目】9月13日（日）

6:00	7:00	9:00	11:00	12:00	12:10
ラジ操	朝食	【研修Ⅴ】 [講習会] 消防組合	振り返り	引き渡し	閉会行事

### 5 活動の様子

#### 1日目

#### 《避難訓練》

市の避難勧告（土砂災害降雨危険発令）を受けて、自宅等から避難所（周防小学校）に避難しました。会場には、「非常持ち出し品」や「防災グッズ」を展示するとともに、「周防地区防災マップ」を掲示しました。



〔看板〕



〔非常持ち出し品〕



〔避難所受付〕

### 《講話（防災について）》

市防災担当課や、周防地区自主防災組織から、「防災全般」、「地域防災の取組」について講話がありました。

消防署からも説明をしていただき、防災カルタをしました。



〔防災について〕



〔地域防災の取組〕



〔防災カルタ〕

### 《寝床づくり・防災グッズ製作》

消防署の指導の下、地域の人と寝床づくりをしました。

その後、停電に備えて、ランタンを製作しました。

また、非常水の配給を受け、非常食（アルファ化米）を作って食べました。



〔寝床づくり〕



〔寝床づくり〕



〔寝床づくり〕



〔非常用水〕



〔夕食〕



〔ランタン製作〕

### 《講話・こども熟議・停電体験》

消防署から、被災地支援体験について講話がありました。

その後、「避難所生活で自分たちのできること」について熟議をしました。

また、就寝前に、停電体験をしました。



〔被災地支援体験〕



〔こども熟議〕



〔停電体験〕

## 2日目

### 《朝食・講習会・保護者への引き渡し》

ダンボールでつくったプライベートルームで、朝食の乾パンを食べました。  
その後、バケツリレー（防火）、心肺蘇生、土嚢積み等の講習を受けました。



〔朝食〕



〔バケツリレー〕



〔心肺蘇生〕



〔被覆訓練〕



〔土嚢づくり〕



〔引き渡し訓練〕

### 《児童生徒アンケート結果》

No	項 目	とても	まあまあ	あまり
①	以前よりも災害に対する認識が深まりましたか。	82.9	17.1	0
②	「避難すること」の大切さが分かりましたか。	85.7	14.3	0
③	「自分にできること」が見つかりましたか。	62.8	34.3	2.9
④	避難所での生活体験が、今後に活かされると思いますか。	74.2	22.9	2.9

### 《感想》

- 段ボールで寝床を作るのがたいへんだった。できた寝床もとても狭かった。でも、狭くてもがまんしなければいけなかった。みんなと一緒にだとなかなか眠れなかった。(小4男子)
- 避難所で自分たちにできることは、ゆずり合ったりがまんしたりすることだということが分かった。自分たちにできることは、たくさんあることをみんなに教えたい。(小6女子)
- 何をすることが大切なのか、何を持っていけばよいのかなどが分かった。周りの人と一緒に楽しくすることも避難所生活では大切だということが分かった。(小6男子)
- 私たちの避難所生活は2日間だけだったが、本当の災害の時はもっと長いかもしれない。毎日がたいへんだろうと思った。(小6女子)
- 地域の人が自分のしたことを喜んでくれたことがうれしかった。困っているときこそみんなの役に立てるようにがんばりたい。(中3男子)
- 防災キャンプを通して人の痛みの分かる人間に、また、実際避難所生活をするようになったとき、この体験を生かし、人の役に立てる人間になって欲しいと思います。(小保護者)
- 今までテレビなどで災害のニュースを見ても、どこか他人事のように感じている様子でしたが、今回参加させていただき、少し気持ちが変わったように思います。いつ起こるか分からない災害に、家族で話し合うきっかけにもなり、大変よい経験をさせていただきました。(小保護者)
- 防災キャンプには、多数の大人の方も参加され、子どもたちと共に作業や食事、就寝までしたことがとても意義深いことだと感じました。また、子どもたちも普段接することのない方とのふれあいに刺激を受けたことと思います。防災を通じて、子どもたちも地域の一員として生活して欲しいと思います。(小保護者)